

学校関係者評価書

東洋理容美容専門学校
学校関係者評価委員会

(全体評価)

「衛生を重視する職業人としての自覚と認識を深めさせ、理容師・美容師として健全な社会生活を営むために必要な態度と能力を育成する」という教育理念に基づいて、理容美容業界を担う職業人としてとしての在り方や社会人としての教養や礼儀・マナーを身につけさせることに主眼をおき、教員と外部講師による適切な指導を積み重ねた結果、学校全体として一定の成果が定着している。今後、業界の展望をしっかりと捉え最新の校舎設備を十分活かし、さらに一層徹底したキャリア教育とカリキュラムの充実をはかってもらいたい。

定員確保について、昨年同様に理容科が定員に達していない。美容科については今年度定員増があり定員に達し県内最多学生数である。理容科については県内唯一の理容師養成施設であるが、理容師志望の学生の減少は変わらず募集は厳しい現状である。ロンドンサズーンスクールとの提携校、理容美容併設校としての強みを活かし、理容本来の魅力と共に新しい時代の理容の可能性をアピールすることを望む。また、理容科修得者課程・美容科修得者課程により、理容師美容師のダブルライセンス取得に向けた教育体制により、理容美容併設校としての強みを前面に出し、昼間課程、通信課程、修得者課程学校全体としてより多くの学生が入学することを期待する。広報活動を通じて学校の素晴らしさを多くの人に発信し、理解してもらうことが必要と思われる。

併せて多様化する顧客ニーズに対応できる人材や、新たな価値を創出し、業界変革・発展に寄与できる人材の育成を期待する。その為に教職員が一丸となり資質向上に取り組み、指導力を高める必要がある。

短期マスター、放課後セミナーは理美容業界の現場の技術・意見を積極的に取り入れカリキュラムに反映していると評価できる。継続して検証と改善を繰り返し、更に質の高い授業を期待したい。

(項目別評価)

(1) 教育理念、教育目標

「衛生を重視する職業人としての自覚と認識を深めさせ、理容師・美容師として、健全な社会生活を営むために必要な、態度と能力を育成する」という教育理念、教育目標が明文化され整備されている。ホームページでの情報公開と共に最新の学校案内パンフレットにも記載された。職業実践専門課程における教育編成委員会の設置により、より実践的で且つ時代の変化に即したカリキュラム編成で、質の高い人材育成を求める。

(2) 学校運営

概ね良好である。教育体制の強化のために定期的に主任会議を実施し、問題点、改善点があれば常に協議し、様々な情報を伝達、共有している。継続して連携を図り良好な学校運営をすることを望む。

情報システム化を導入したことにより、学生情報管理システムの導入により業務の効率化が図れた。今後個人情報などの保護に努めつつ、学生募集管理から学籍管理、履修管理、成績評価、卒業認定、就職先までの一連の情報集約、活用を期待する。

(3) 教育活動

教育全体の学習効果を高め、カリキュラムの統制や一貫性のあるものにするために授業計画(シラバス)を明確にする必要があり、現在ホームページに公開している。職業実践訓練課程として、よりキャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫のためにも、外部講師からの評価もしっかり取り入れてもらいたい。また改善方策にある「実務に関する知識・技術・技能を修得・向上するための研修」、「授業及び学生に対する指導力等を修得・向上するための研修」について、教員は学生指導と共に効率よく時間を作り実施してもらいたい。昨年同様ササーンの教員向けのセミナーを実施している。今年度も介護職員初任者研修は実施に至らず残念であるが、短期マスターの実施は評価できる。同窓会活動を利用し、卒業生への案内も希望する。

(4) 学修成果

昨年に引き続き就職率、国家試験合格率が安定している。国家試験合格率についてはクラス担任、各講師による丁寧な指導のたまものである。就職についても就職担当を中心にクラス担任と学生の個別面談やアドバイス等の支援の流れが明確で、実績につながっている。退学率についても問題はなく、担任からの保護者への連絡・連携もとれているようだ。各認定資格の取得状況もよい。卒業後のキャリア形成の効果については、同窓会やSNS、各サロンや専門誌と連携を図り情報交換し、より一層学校の教育活動に反映出来るとよい。

(5) 学生支援

昨年同様「特待生制度」、「奨学金制度」が実施されたことを評価する。高等教育の修学支援制度の対象校としても継続して認定を受けた。学校独自の奨学金制度、日本学生支援機構奨学金と合わせて学生の授業料等の不安についても今後サポート・ケアしてもらいたい。

その他就職や資格取得の支援、コンテストに挑戦する学生や、遠方からの入学生に対する支援等充実している。令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大のため様々なイベントが中止されたが、今後も課外授業等の実施により、学生のモチベーションをあげて、より意欲的に学習できるようなサポートを期待する。

(6) 教育環境

本館の完成と、令和2年3月竣工の1号館耐震補強工事校舎リニューアル、令和3年3月の2号館校舎リニューアルにより教育環境が格段に良くなっている。また、新型コロナウイルス感染症感染拡大に備えて、各館の抗ウイルスコートを実施したことも評価できる。

年2回の避難訓練、消防訓練を望むが、災害時用に食料と水を備蓄してあるのは、地域に貢献する意味も含めて評価できる。安全な学校生活を確保するため、想定される危険や災害とその対処要領を明確にし、整備した上で防災マニュアルの作成に取り組んでもらいたい。

(7) 学生の受入れ募集

進学相談会や高校ガイダンスへの参加、高校訪問を積極的に行っている。学校案内やパンフレット、ホームページなどで学校の特色等をわかりやすく伝えている。特に近年スマートフォンを活用し、専門学校の情報を収集する高校生が多いという調査のもと、スマートフォンで見やすいホームページのリニューアルを進めている。合わせて最新のパンフレットのイメージも刷新された。また体験入学、オープンキャンパスも数多く実施し内容も充実している。他にも遠方進学希望者の交通費サポートなど工夫を凝らし、高校生の参加人数や、来校機会を増えているように思われる。

理容科は定員確保ができなかったが、今後も競合校の動向、少子化や大学全入学、経済状況の悪化、業界の

縮小等の問題を見据えつつ、定員確保に努力してほしい。特に理容の魅力、サスーンスクールシップ提携校、理容・美容の併設校としての魅力をアピールしてもらいたい。

(8)財務

財務は良好であり、情報公開もされている。経営を更に安定させるためにも学生募集に力を入れても欲しい。

(9)法令等の遵守

関係法令を遵守し、適正な学校運営を行っている。セキュリティの強化や個人情報の管理は徹底事項であるので、その啓発と認識が重要である。またSNSにおけるトラブルなどにも注視し学生にも教育する必要がある。自己評価については適正に行われており、ホームページにも公開されている。学校運営の改善にも反映されている。

(10)社会貢献・地域貢献

令和2年度は実施できなかったが、定期的な募金活動、美容ボランティア、大学のヘアメイクボランティア、キッズダンス大会のヘアメイクボランティアなど高評価である。

赤い羽根共同募金、エコキャップの提供、校舎周辺清掃、その他聾学校との交流、地域中学校の職場体験等も実施し、社会と地域への貢献につながっている。

(11)国際交流

イギリスのサスーンスクールと英国シェフィールドカレッジとスクールシップを結んでおり、教育プログラム実施と海外研修の実施は良い取り組みだと思う。また新たにスペインのカズカーラメイクスクールと提携し、令和元年の学生海外研修では、イギリスとスペインの2カ国に渡り交流が持てたことは国際感覚を養う上で、学生にとっても貴重な経験だと思われる。